



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 21-1

7月号

発行 2019年7月16日

Chartered 1998

クラブ会長主題	「20周年を次の20年へ!!」	会長	吉野 勝三郎
国際会長主題	“Building Today for a Better Tomorrow”	副会長	松川 厚子
	「より良い明日のために今日を築く」	会計	山崎 純子
アジア太平洋地域会長主題	“Action” 「アクション」	書記	利根川 太郎
東日本区理事主題	「勇気ある変革、愛ある行動！」		
	“Innovation with courage, action with heart!”		
関東東部部長主題	「紡ぐ ワイズのこころ」		

7月の聖書

人だれでもが飲み食いし、その労苦によって満足するのは、神の賜物だ、と。
コヘレトの言葉（3章13節）

Everyone may eat and drink, and find satisfaction in all his toil - this is the gift of God.
(Ecclesiastes 3:13)

6月例会報告

利根川 太郎

1. 今年度の振り返り（吉野新会長による）
 - 1) 森下千恵子会長の主題「ワイズメンズクラブを楽しもう！」に基づいて、初めて日帰りバス旅行を行いました。27名の参加を得て8月23日に足利ココファームワイナリーへ伺いました。現地では足利ワイズの諏訪治男メンから手厚いサポートが有り感激しました。今後もこのような企画を実行して楽しいクラブとして参りたいと思います。
 - 2) 20周年記念例会・講演会を開催し、DBC北九州クラブからも参加者を得て、盛大かつ印象に残る会となりました。クラブ創設に尽力され会長として活躍された工藤徹さんは、今も多くの皆さんの心に深く刻まれていることを改めて感じる機会ともなりました。
 - 3) 20周年記念講演会でご講演いただいた東京国際大学名誉教授ベリ・ドゥエル先生から示唆に富んだお話を伺うと共に、川越クラブがIBCを結んでいるアメリカオレゴン州のセラムクラブの貴重な情報を得ることができました。途絶えていた交流を再開するきっかけとし、次年度の活動に盛り込んで参ります。
 - 4) 川越クラブは、関東東部、東日本区、アジア太平洋地区などに多くの奉仕者を輩出していて、大変喜ばしいことです。一方でオーバーワークにならないよう、安全かつ健康に留意して奉仕してください。

2019年6月の統計（6月29日）

在籍11名 出席者5名メイクアップ1名

出席率 55%

- ・客員として、生川 美樹さんが出席
- ・子ども食堂検討に係るゲスト
伊勢 国望さん 木本 晃子さん

2019年 7月 例会予告

日時：7月27日（土）午後4:30～7:30

場所：埼玉YMCA 川越センター

- 議題：1. 新年度活動方針・予算審議
2. 東日本区大会報告
3. 「子ども食堂」トライアウト取り組み
4. その他

2. 20周年記念式典・講演会・懇親会

決算報告

収入 ¥996,000

支出 ¥995,552

収支差額 ¥448 は本会計にもどす

3. 新年度方針

1) 会長主題

20周年を次の20年へ！！

2) 今季の目標・活動計画

① YMCA サポートをさらに強化する新規 CS 事業の可能性を模索する。

② 休眠状態であった。アメリカ・オレゴン州 Salem Club との交流を再開する。

3) クラブの課題と対策・目標

・課題

活動ができるメンバーの漸減

・対策・目標

① 現在の新入会員候補者を会員にしたい

② EMC を意識して、2名の新規メンバー獲得を目指す。

4) ファンド

今年も「紅あかファンド」で川越いもの購入に協力をお願いします。

4. 子ども食堂実現に向けて

1) 子ども食堂開設に向けての概要説明

① 5月18日(土)の話合いの内容

② 川越市には6~10件の子ども食堂がある。

③ 食事を通して子どもの居場所作りをしたい。最終的には格差・貧困の解消に役に立ちたい。

④ 保健関係について

・不特定多数に食事提供は営業許可が要る。設備面でハードルが高く困難。

・許可を取らずにイベントとして年3回までなら可能。

・特定多数として会員への提供ならば可能。

⑤ 調理担当者だけ検便をすれば良い。

2) 現時点で可能な方法

・会員組織とする。

・組織はYMCAではない独立のものを新たに組織する。

・保健所の許可は取らないが指導に従う。

・保険を掛ける。

3) トライアルの具体化

① 日程 8月27日(火) ランチの提供

10:30 スタッフ集合 11:45 開場

12:00 ランチ 13:00~15:30 アクティビティ

② スタッフ

伊勢、植波、鈴木、河合、近山、山崎、生川、吉野、利根川ケ、新井

③ 集客 Max15名

チラシ配布

自治会等(西小仙波は可能)

④ カレーとサラダ 20食

⑤ 参加費 200円

4) トライアル実施に向けて細部検討日程

① 日程 7月9日(火) 17:00YMCA

② 準備 ポスター原案(伊勢さんが用意)

5. アジア太平洋地域大会

1) いも菓子 70袋(ラベル貼って持って行く担当)

・いも松葉 20袋(生川)

・いもチップ 20袋(山崎 10, 吉田 10)

・いもせんべい 10袋(恵子)

・いも納豆 20袋(太郎)

2) ブース準備等について

・18日午後から準備可能

・おつりは山崎さんが準備し t 呂志田さんが持って行く

7月9日トライアル実施検討報告

利根川 太郎

1. ポスターについて

・ファックスでの申し込みを主にし、申込用紙を付ける。

・1000枚を印刷して自治会等に配布(伊勢さん)

2. 工作の材料について

・1リットルの牛乳パックが35個くらい必要。伊勢さんが10個くらい他のメンバーは3~4個を持ち寄る。

・セロテープや折り紙は購入。多色のマジックは植波さんが提供。はさみ等はYMCAから借用。

3. 食材について

・基本的には購入する。

4. 検便について

・代表者1名が行う。(山崎さん)

YMCA 報告

河合 今日子

<2019年ダイナミックサマー>

7月26日から8月10日までダイナミックサマーオレゴンに出発します。

参加者 26名、太田(聡)と近山が引率となります。子ども達にとって文化や習慣が異なる地域で過ごす経験は、決して楽しいことばかりではありません。16日間を通し、つらいことも含めた環境の中で、自分を見つめ、仲間を思いやれるような経験が世界の平和へと繋がる一歩になると信じています。安全に守られたキャンプとなりますよう、皆様お祈りください。帰国後の報告をお楽しみに・・・。

<東日本区メネット委員会より絵本の寄贈がありました>

今年もメネット委員会より素敵な絵本4冊が届きました。放課後等デイサービスのクラスで読み聞かせたときの子どもの様子をご報告いたします。

普段は人の話を聞くことが苦手な子たちが、読み聞かせをはじめた途端、食い入るように絵本を見つめ、最後までよく話を聞いていました。そして、その後の発表では、絵本の出来事を自分の日常生活に置き換えて感想を言ったり、本が「新品である」ということをとても喜んでいたりする場面が見られました。顔が見えない人から自分たちのために絵本を寄付してもらえるとということ自体が驚きで信じられないという意見もありました。

子どもたち一人ひとりの感想も様々でしたが、自分たちなりの感謝の気持ちがそれぞれ表現されていた時間となりました。いただいた本は、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



<夏休み開館日、時間のお知らせ>

7月21日(土)で通常プログラムが終了となり、7月22日～8月31日まで夏季プログラムとなります。開館日、時間等も変則的になりますので、ご来館の際は事前にお電話いただきますようお願いいたします。

第1回関東東部評議会報告

会長 吉野 勝三郎

今回は、2019-2020年度が始まって2週間ということで、各クラブの会長から、今年度の方針と課題が発表されました。新年度を始めるにあたり、川越クラブについて私が発表した内容を報告します。皆さんと力を合わせて、実りある1年にしたいと思いますので、ご支援・ご協力をお願いします。今回の評議会には、利根川太郎書記と私が出席しました。

評議会では、まず、会議冒頭に、金丸満雄部長から、川越クラブの鎌田政稔メンが7月1日に亡くなられたことの報告があり、参加者全員で黙祷を捧げました。

川越クラブからは、私が次のように発表しました。

1. 会長主題： 「20周年を次の20年へ！！」

これは、4月27日の20周年記念例会で掲げたテーマで、それをそのまま今年の会長主題といたしました。

2. 今期の目標・活動計画：

1) YMCAサポートを更に強化する新規CS事業の可能性を模索する。

これは、子供食堂を目指して、8月27日に“わいわい食堂”と銘打って開催する活動を積極的に支援・推進しようとするものです。チラシの原案もできましたので、川越クラブを挙げて新規CS事業として育てましょう。時期を見て、部のCS事業資金の申請に漕ぎ着けたいと思います。

2) 休眠状態だったIBCのアメリカ・オレゴン州 Salem Club との交流を再開する。⇒20周年記念の講師 ベーリ・ドゥエル先生の助言があった。

既に、同クラブへは交流再開の要請を出しているのですが、今後の進展を期待します。又、ドゥエル先生はオレゴン州出身、オレゴン州 Camp Collins では今年も埼玉YMCAのダイナミック・サマーキャンプが開催され、東京国際大学はオレゴン・キャンパスがあり、更に Salem 市は川越市と姉妹都市の関係という、川越と非常に縁の深いところです。Salem Club はCS事業として、年に一度の古書販売が有名です。

3. クラブにおける問題点・その対策、戦略

1) 活動できるメンバーの漸減

2) 現在いる新入会員候補者を会員にしたい。

4. ゴール（できるだけ数字などを入れて具体的に）

EMCを意識して、2名の新規メンバー獲得を目指す。

5. その他（クラブ活動やファンド等のPR）

1) 今年も「紅あかファンド」で、川越芋の購入に協力をお願いします。

更に、会長の希望としては、昨年初めて開催して好評だった、日帰りバス旅行も実施したいと思います。次回の例会で相談させて下さい。

又、評議会の後、所沢クラブ東会長から、今年の埼玉県内3クラブ合同例会を川越クラブ主催で11月30日(土)に開催し、当日を部長訪問日として欲しいとの要請がありました。この件も、次回の例会の議題とします。

その他のこととして；

—東京ひがしクラブは、現在11名のメンバーが9月には4名入会が決まり、更に追加の加入が見込まれているという報告がありました。

—今年の関東東部大会は、10月5日(土)東京YMCA東陽町センターで開催されます。この部大会終了後、場所を変えて東京江東クラブ60周年記

念祝会も開催されますので、多くのメンバーの参加を期待します。

—今年、部としてのレクレーションを企画し、10月12日（土）に「神田川船の会」が開催されます。挙って参加しましょう。

—第2回評議会は11月16日（土）開催予定です。

鎌田政稔メン追悼

7月1日にチャーターメンバーである鎌田政稔さんが天国に召されました。チャーターからずっと川越クラブを支えてくださいました。心から哀悼の意を表し、ご冥福を祈ります。

クラブのメンバーが追悼の言葉を寄せていますので、ご紹介します。

鎌田 政稔メンを想う

鎌田メンに最後にお会いしたのは、5月25日の例会でした。痩せて、やっと声を出しているようでしたが、それでも例会に顔を出してくれました。その後、1ヶ月ほどで亡くなるとは思っていませんでした。残念です。

改めて、「川後ワイズメンズクラブ設立20周年を覚えて」の冊子に寄稿された文章を読み返すと、「奉仕活動を通してYMCAを支援する」という目的は頭に叩き込んでいます。と記されています。今、思い返してみると、鎌田メンのワイズに対する基本はここにあったと思わされます。上記原稿は、「不活発なメンバーですが20周年を機に少し気合を入れて、一步一步進めてまいります。宜しく願い申し上げます。」と結ばれています。チャーターメンバーとして20年間のお付き合いに感謝します。

吉野 勝三郎

鎌田政稔メンを偲ぶ

4月27日の川越クラブ設立20周年記念例会をたまたま会長であったのですが、大先輩に支えられて無事に終えることができました。いつも自信のない私に鎌田さんからはいつも温かい言葉をかけていただき励まされたものです。鎌田さんはいつもそうでした。そして誰にでもそうでした。

お忙しく例会にも最初から最後までいらっしやることは少なかったのですが、時間がある限り短い時間でも顔を出し、川越クラブの色々なイベントの時にも、表に出るよりは会場関係の交渉をするなど鎌田さんの広い人脈に支えられてきました。川越で開催された東日本区大会も川越クラブ設立20周年記念例会も、アースディ・イン川越も鎌田さんの尽力は大きかったです。

鎌田さんは優しいだけでなく、時には毅然として意見を言う大人でした。私はダンディで、カッコイイ鎌田さんのファンでした。そしてダンディな鎌田さんのネクタイをよく見ると小さな柄が実は可愛い小さな自動車柄だったというお茶目な面もありました。今

FaceBookを見ると数年前の在京ワイズ合同新年会に小さくピースサインをした鎌田さんの写真が懐かしいです。

この3月に35年働いた職場を退職し、退職した後、漠然と少しの間に日本を離れることを決めていました。20周年記念例会の後バタバタと渡米の準備をしようやく6月の末に日本を出ました。荷造りを終えもうすぐ日本を発つとき鎌田さんの顔が浮かびました。癌で闘病中であることはみんな知っていました。最新医学を信じ、帰ってくるまで頑張してほしいと願っていました。しかし、私がアメリカに着いたその日にお亡くなりになったというメールを見て大変残念に思いました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

森下千恵子

鎌田政稔さんへ

いつも「あっちゃん、あっちゃん」と呼びかけてくださりありがとうございます。とても嬉しかったです。

最後まで幅広く活躍していらっしやる姿に感動し、尊敬しておりました。

どうぞ安らかにやすみください。

今度天国でお目にかかったときもまた「あっちゃん」と呼んでください。

山崎純子

川越ワイズのジェントルマン鎌田さんを偲んで
最初に出会ったのは、もう20数年かな、YMCAの土曜日英語レッスンの休憩時間の時でしたね。私はビギナークラス、鎌田さんは上級クラスで、女性の中でしっかり存在感がありましたね。レッスンが終わるとクラスの仲間とお茶をしに、鎌田さんも交じって女子トークを楽しんでいましたね。そんな出会いからいつも間にか、ワイズのメンバーになっていました。

鎌田さんが居たから安心して入会出来る事が出来ました。「きみよちゃんは、バランスが取れているからね。ワイズにとって、それってすごく大切なことなんだよ」と言われたのを思い出します。普通なのにねと思っていました。

寂しいですね。とつてもとつても。

きっと、あちらへ行っても、忙しく仲間づくりをしているのでしょう。

ありがとうございました。またね！

吉田公代

<鎌田さん>

鎌田さんには、長年、YMCAの協力会員・語学会員として埼玉YMCAをお支え頂きました。英会話のクラスでは、いつもクラスのムードメーカー役で、終わった後はいつも「ありがとう。来てよかったよ。」と笑顔で感想を述べられていました。体調を崩されてからもお亡くなりになる1ヶ月前まで通わ

れ、その姿は変わりませんでした。同じクラスの生徒さんが「鎌田さんはクラスの中で困っている人がいるといつも助け船を出してくれた」「明るくてどんなことも受け止めてくれる心が広い姿に自分はいつも反省させられていた」「体調が悪い時もいつも明るく前向きだった」と鎌田さんを偲んでおられました。

鎌田さんは、私がリーダーの頃から「頑張ってるね！」といつも声をかけてくださり、スタッフになってからは地域のことでわからないことがあると「聞いておくよ！」と言ってすぐに対応してくださいました。いつもいつも助けられていたのは私たちなのに、鎌田さんはいつも「ありがとう、ありがとう」と私たちに感謝してくださいました。結局、私からは鎌田さんに十分な感謝の気持ちをお伝え出来ないままお亡くなりになり、残念でなりません、鎌田さんが支えてくださったものを大切に守っていきますのでどうか見守っていてください。

今まで本当にありがとうございました。鎌田さんと出会えたことに感謝しています。ご逝去を心から悼み、ご遺族への慰めを心からお祈りします。

河合 今日子

(編集後記)

今年度から書記を担当いたします。ワイズメンズクラブに参加させていただいて1年半が経ちます。恵子の活動を通して知っている方も多く、皆さん温かく迎えていただき、それに甘えてのんびりぼんやりとクラブライフを過ごして参りました。

いつまでもそうしているわけにはいかないので、少し荷が重いと思いますが書記をお引き受けいたしました。私は、元来が理系の人間なので、文章は下手くそで読みにくい紙面になってしまうかと思いますが、何卒ご容赦ください。

吉野会長がワイズに寄せる思いを実現するために、少しでもお役に立てるよう努めて参りたいと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。

利根川太郎